Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall

農林交流センター

人と技術を強くする ONLINE！

農林交流センターニュース

第520号 2022.12.16

発行：農林水産省農林水産技術会議事務局
筑波産学連携支援センターコーディネーション推進課
〒305-8601茨城県つくば市観音台2-1-9 Tel.029-838-7136

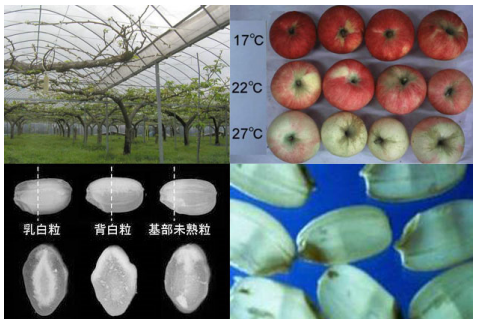
第233回農林交流センターワークショップ参加者募集（参加費無料）

メッシュ農業気象データ利用講習会

開催日：2023年（令和5年）2月21日（火）～2月22日（水）

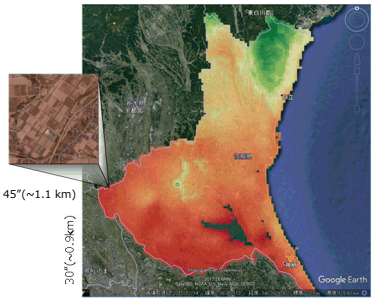
開催趣旨

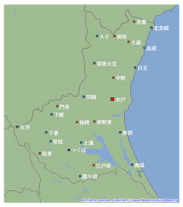
近年の温暖化傾向に伴い、高温による減収や品質低下が各地で問題となっており、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する小規模で分散した圃場を効率的に経営するために、複数の作物や品種を組み合わせて機材の稼働や労働を平準化する技術が求められています。
メッシュ農業気象データシステムは、このような技術の開発を支えることを目標に開発された気象情報サービスで、1980年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値と、気候温暖化シナリオを1kmメッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。
本ワークショップは、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語Pythonや表計算ソフトExcelでこれを処理する技術を習得します。



▲温暖化の影響による、コメの白未熟・胴割、果実の着色不良等

開催方法	筑波農林研究団地よりライブ形式によるオンライン配信 （Adobe Connectを使用します）※詳しくはHPをご確認下さい。
主催	農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
対象	産学官で研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方。
募集人数	40名（※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。）
コーディネーター	農研機構 農業環境研究部門 気候変動適応策研究領域 上級研究員 **佐々木 華織**




▲国内任意の地点における気象データを提供
（日別気象データを約1km×1kmの単位で全国について取得できます。）

右記の条件を満たしたノートPCをご用意下さい。

重要！

1. 無線または有線のLAN接続機能を有する。
2. OSはWindows10以降、または、Mac OS X 10.11以降。
3. トラブル対処のため、管理者権限でもログイン可能。
4. Microsoft Excel（WindowsはExcel2013以降、MacはExcel2016以降）をインストール済み。
5. 実習でJupyterLab(https://jupyterlab.readthedocs.io/en/stable/)を使用します 。受講決定後、セットアップの資料を送付しますので、事前にセットアップをお願い致します。

※ご所属機関のセキュリティーポリシー及び規程等により以下の対応が出来ない場合、ご参加頂けませんので、お申込み前にご確認をお願い致します。
①使用予定のPCに「**JupyterLab**」のインストールが可能であること（ご所属機関のシステムご担当者様にご確認ください）。
②当日使用されるPCのアカウントは、アルファベットのアカウントをご使用頂きますようお願い致します。
アカウントに日本語が使用されていると、アプリケーションが誤作動を起こす可能性がある為。
該当する方は、受講決定後、各自別途アカウントを作成して頂きますようお願い致します（権限は一般ユーザーでも構いません）。

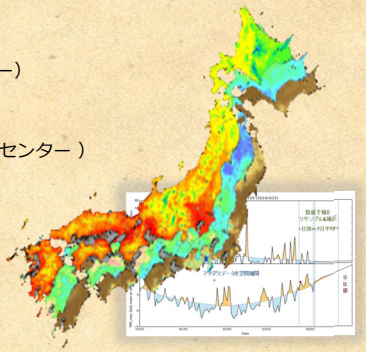
講義と実習の概要

【 2月21日（火曜日）】

9:00～ 9:10 **【オリエンテーション】**佐々木 華織（農研機構 農業環境研究部門）
9:10～ 9:20 **【講師自己紹介】**講師全員（※参加者自己紹介は別途オンライン掲示板に掲載）
9:20～ 9:50 **【講義】**「メッシュ農業気象データの利用について」佐々木 華織
9:50～10:20 **【講義】**「メッシュ温暖化シナリオデータについて」西森 基貴 （農研機構 農業環境研究部門）
10:30～11:00 **【実習】**「メッシュ農業気象データの取得1 Excelの利用 」根本 学（農研機構 北海道農業研究センター）
11:00～12:00 **【実習】**「Pythonによるプログラミングの基礎１」片柳 薫子（農研機構 農業環境研究部門）
13:00～14:00 **【実習】**「Pythonによるプログラミングの基礎２」片柳 薫子
14:00～15:00 **【実習】**「メッシュ農業気象データの取得2 Pythonの利用」大久保 さゆり（農研機構 東北農業研究センター ）
15:10～16:10 **【実習】**「Pythonによるメッシュ農業気象データの処理１」大野 宏之（農研機構 農業環境研究部門）
16:10～17:00 **【実習】**「Pythonによるメッシュ農業気象データの処理２」大野 宏之
17:00～17:15 **【講義】**「開発するアプリケーションの検討」佐々木 華織

【 2月22日（水曜日）】

9:00～14:00 **【実習】**「各自メッシュ農業気象データを利用するアプリケーション開発 」
14:00～14:20 **【実習】**「各自開発したアプリケーションの要旨・結果提出（オンラインドキュメント上）」
14:30～17:00 **【講義】**「開発結果のレビュー」大野 宏之
17:00～17:10 **【閉会】** 佐々木 華織



ワークショップのお申込み方法＆お問い合わせ

農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方

「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」ホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申込みください。

上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）

「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」ホームページのお申し込みフォームからお申込みください。

申込方法：左記により **令和5年1月16日（月曜日）迄** にお申し込みください。（必着）。
受講者決定：令和5年1月23日頃、メールにてお知らせ致します。

筑波産学連携支援センター ホーム　検索　★詳しくはHPをご覧下さい。

《お問い合わせ先》
農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課 森田・木暮（きぐれ）
TEL:029-838-7136 **FAX**：029-838-7204 **E-mail**：koryu7129@cc.affrc.go.jp

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターホームページ http://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top

Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall